

金融経済教育研究授業を通して

大阪市立東高等学校

教諭 櫻井 政子

研究授業（２テーマ：家庭経済の基本／契約と消費者問題）を終えて

日々の暮らしにおける行動が、家庭・社会の経済活動や消費者問題に大きく関係していることを知り、理解し実践できるよう授業を進めた。

生徒から、グループワークなどで話し合う授業ではなく、社会に出てから役立つよう、特に金融に関する用語や社会保障制度、税金については個人でしっかり学びたいという希望が非常に多かったことから、講義型を主に授業を進行した。

また、毎時間振り返りをさせ、感想なども書かせていたので着実に基礎力はついたように感じた。

授業時間が少なかったクラスは速足での授業展開となってしまう、生徒たちも大変な部分はあったと思うが、この授業は近い将来きっと学んでよかったと感じてもらえることを望んでいる。

今までの消費者教育授業の中で、最も楽しく充実した時間になったと思う。

生徒の感想

- ・現金払いが最も安全のように思うが、電子マネーなどキャッシュレスとの付き合い方も少しずつ覚えていく必要があるので、今回の授業は役に立った。
- ・社会保険料や税金など、経済に関する言葉やその仕組みを卒業までに理解することができて良かった。
- ・生活設計・マネープランゲームは、自分の生活をシミュレーションすることができてとても面白かった。
- ・収入と支出のバランスを考えず、自分の思いのままに生活することは危険なことだと分かった。
- ・今までは安易に買い物をしていたけれど、今後は機会費用を考えたうえで買い物をしようと思った。